

北部医療センターだより

VOL. 1
2026. 1



※ イメージ図は基本計画時のものになります。今後、建設に際して変更になる可能性があります。



安全祈願祭(地鎮祭)の様子



沖縄県
北部医療組合
Hokubu Medical Union

令和10年度開院予定

公立沖縄北部医療センターは、北部12市町村住民による「基幹病院の整備を求める総決起大会」を受けて、県立北部病院と北部地区医師会病院を統合し、圏域内の基幹病院及び公立病院としての役割を担います。



公立沖縄北部医療センターの解説！

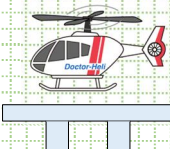
MAP

公立沖縄北部医療センターは、名護高校向かいの旧県立農業大学校跡地に建設



ヘリポート

屋上にヘリポートを設置し、ドクターヘリによる患者受入が可能



本館棟

6 F

一般病棟・地域包括ケア病棟

5 F

一般病棟・緩和ケア病棟

4 F

小児病棟・産婦人科病棟・NICU・GCU

3 F

手術室・ICU・HCU・リネン庫・厨房

2 F

救急センター・外来・各種検査・内視鏡室

1 F

総合案内・会計・コンビニ

別館棟

透析治療室

健診センター
化学療法室

リハビリ
放射線治療室

放射線治療室

がん医療機能の向上のため、新たに放射線治療装置を整備

駐車場

駐車場

一般用及び職員用駐車場
合計：約1,400台分整備

外来

救急・外来診療機能をワンフロアに集約配置、機動的かつ効率的な診療を実施



エントランス

新しい病院の顔として総合受付や総合待合、コンビニ、イートインコーナーを整備



こんな病院が整備されます！

基本理念 いつでも安心して満足できる医療を提供し、地域住民から信頼される病院

- 基本方針**
- 地域住民のための病院
 - 安心・満足できる医療の提供
 - 信頼される病院
 - 地域に開かれた健全な経営

病床数 450床

- 高度急性期・急性期病床 386床
- 回復期（緩和ケア病棟） 14床
- 回復期（地域包括ケア病棟） 48床
- 感染症 2床

診療科目 34科（内科、総合診療科、救急科等）

主な役割と機能 救急告示病院、へき地医療拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院、地域周産期母子医療センター

建物概要

位置 名護市大北1丁目
敷地面積 約10.6万㎡
構造 本館棟6階建て
別館棟3階建て
駐車場 約1,400台

新病院予定診療科一覧

内科	総合診療科	救急科	呼吸器内科
消化器内科	循環器内科	神経内科	リウマチ科
腎臓内科	感染症内科	※腫瘍内科	内分泌代謝科
小児科	外科	呼吸器外科	消化器外科
乳腺外科	心臓血管外科	整形外科	形成外科
脳神経外科	精神科・心療内科	皮膚科	泌尿器科
産婦人科	眼科	耳鼻いんこう科	歯科口腔外科
麻酔科	放射線診断科	※放射線治療科	病理診断科
リハビリテーション科	臨床検査科	※ 赤字は北部地区で新たに新設予定の診療科	

新病院の主な機能



救命救急医療

- 救急告示病院として24時間365日救急搬送の受入
- ドクターヘリが離発着可能なヘリポートを整備



周産期医療・小児医療

- 地域周産期母子医療センターとして、24時間体制で周産期医療の提供
- 新生児集中治療室（NICU）、新生児回復期治療室（GCU）を設置し、周産期に関する高度な医療の提供



がん医療・緩和ケア

- 地域がん診療連携拠点病院として、手術療法、化学療法、放射線治療が提供できるよう整備
- 積極的治療よりも身体的・精神的な苦痛の除去に重点をおいた緩和ケア機能の充実



集中治療

- 集中治療室（ICU、CCU）や高度治療室（HCU）を設置し、重篤患者及び重症患者に対する高度急性期医療の提供



感染症医療

- 感染症患者が大幅に増えた場合、病床の一部を対応病床へ転換し、感染症重症者の受入拡大



離島・へき地医療

- 日常的な疾病や外傷等の診断、治療の支援
- 離島住民に対する専門医療の提供
- 附属診療所の既存の診療機能等の維持に配慮



健診及び検診機能・人工透析施設

- 健診及び検診機能は、北部地区医師会病院と同規模の機能を整備
- 両病院及びちゅら海クリニックの人工透析施設の機能を引き継ぎ、専門的で質の高い透析の提供



災害医療

- 地域災害拠点病院として、災害派遣医療チーム（DMAT）を保有



地域医療支援機能・地域包括ケア

- 北部地域の医療機関とのネットワーク構築、患者の紹介、逆紹介、診療情報及び医療情報の共有、医療従事者の研修を実施
- 地域包括ケアシステムの推進



琉球大学病院地域医療教育センター

- 琉球大学病院地域医療教育センターを設置
- 琉球大学及び琉球大学病院と広く連携し、医療従事者のキャリア形成支援体制の構築

公立沖縄北部医療センター安全祈願祭（地鎮祭）を行いました！

令和8年1月13日(火)、北部医療センター建設予定地にて安全祈願祭(地鎮祭)を執り行いました。

公立沖縄北部医療センター新築工事の第一歩となる安全祈願祭には、北部医療組合管理者の玉城デニー知事、北部医療組合議会の山里将雄議長、北部市町村会長の當眞淳宜野座村長、渡具知武豊名護市長や石川清和北部地区医師会長をはじめ、地元区長さんや設計・施工を担当する関係企業の代表者など約100名近い関係者が参加しました。

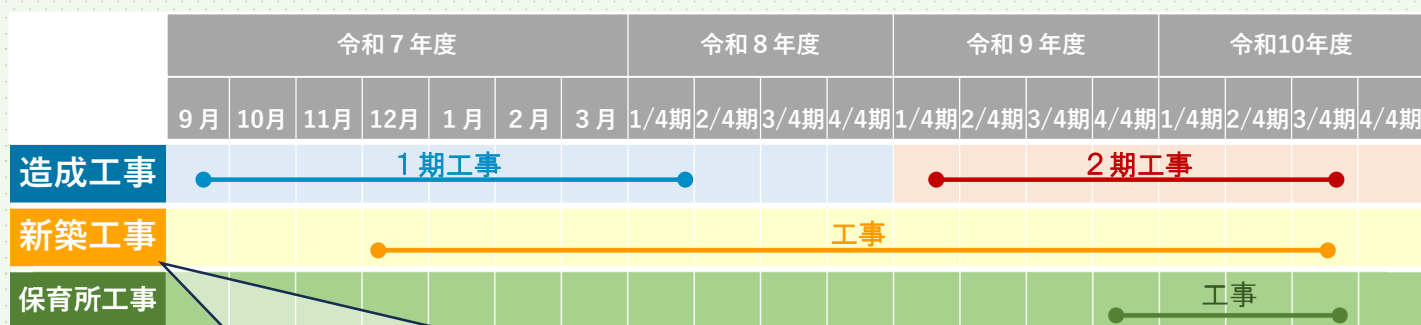


安全祈願祭を終えて、玉城デニー知事は「安心な医療を確保するため、基幹病院（公立沖縄北部医療センター）を整備することは、北部地域に欠かせない最重要プロジェクト」であると当医療センターの整備の必要性を述べました。

これから本格的に病院建物の工事がスタートします。工事関係者の安全はもとより周辺住民の皆様の安全にも配慮したうえで工事が進むよう関係者と協力して取り組んでまいります。



今後の整備スケジュール



造成工事とは？… 土地を建物の建築や有効活用に適した状態にするために、土地の形状や地盤を整える工事全般を指し、具体的には切り土、盛り土、地盤を固める杭打ちなどがあります。

新築工事とは？… 病院の建物を建てる工事を指し、躯体工事、電気工事、機械工事の3つの工事に大別されます。

躯体工事とは… 建物の骨組み（基礎、柱、梁、床、壁、屋根など）に関する工事

電気工事とは… 発電設備、照明、コンセントや情報通信設備（Wi-Fi、LANケーブル）の設置に関する工事

機械工事とは… 給排水設備、浄化槽、ボイラーや空調設備の設置に関する工事



沖縄県北部医療組合のホームページ公開してます！よろしければこちらもご覧下さい！！

沖縄県北部医療組合ではLINE公式アカウントも開設しています！友だち登録はこちらから！

